作者： 事務局
2014年 12月 10日(水曜日) 11:06 - 最終更新 2014年 12月 10日(水曜日) 11:06

講 演 者 紹 介

平成26年12月13日（土）東京支部総会の特別講演でご講演頂く安彦兼次氏を、ご紹介します。

1965年（昭和40年）秋田大学鉱山学部卒、その後東北大学大学院に進まれ、

以後「高純度金属の研究者」として活動され、現在も世界でご活躍されている方です。

安 彦 兼 次 氏

元　東北大学　客員教授

作者： 事務局
2014年 12月 10日(水曜日) 11:06 - 最終更新 2014年 12月 10日(水曜日) 11:06

現　ペンシルヴァニア大学　シニアフェロー

現　米国ASTM　International　Menber

講演題目「鉄本来の性質を追及して50年」

ー究極の金属“Super　Pure　Metal”　の発掘へー

作者： 事務局
2014年 12月 10日(水曜日) 11:06 - 最終更新 2014年 12月 10日(水曜日) 11:06

研究活動

（東北大学大学院　→　東北大学金属材料研究所）

・鉄をはじめ金属の超高純度化

・含まれる不純物元素の極微量定量

・金属本来の性質を追及

☆　1994～2010年
日仏独米の研究者と共同研究を推進する傍ら「高純度ベースメタル国際会議」を組織し

作者： 事務局
2014年 12月 10日(水曜日) 11:06 - 最終更新 2014年 12月 10日(水曜日) 11:06

その委員長として活動し15回開催した。

☆　世界最高純度の鉄10kgを溶製する事に成功し、その合金の研究を推進した。

☆　その鉄は、鉄中の64種の不純物元素の極微量定量を行い純度99.9996％と

決定され、ドイツBAMのデータベースCOMARにABIKO　ultrahighpurity Ironとして登録された。

☆100kgの超高純度金属の溶解炉を開発し、欧米から溶製した金属を

“Super　Pure　Metal”と名付けられた。

作者： 事務局
2014年 12月 10日(水曜日) 11:06 - 最終更新 2014年 12月 10日(水曜日) 11:06

以上